

ふれあい

大代地区コミュニティ推進協議会

事務局：大代地区公民館 ☎ 364-8442

視察研修を終えて

コミュニティ推進部 小野 菊郎

大代地区コミュニティ推進協議会主催十六年度視察研修を六月十五日に、参加者三十六名で実施いたしました。高い確率で発生が予想される宮城県沖大地震に備えて、私たちの生活上欠かすことができない、電気、ガスを供給する事業所の状況を知るべく、大代地区に隣接する東北電力新仙台火力発電所、仙台市ガス局新港工場を見学いたしました。

新仙台火力発電所（総出力九十五万KW）は、重油（隣接する新日本石油からパイプで供給）LNG―液化天然ガス―（インドネシア、カタール、マレーシア）日本海LNG―（新潟市二百五十一㎞パイプライン）を燃料として二個の発電設備で仙台圏の約三十％に電気を供給しております。災害時に対しては自工場のみならず、周辺地域に対する甚大な被害を想定し、安全の確保に万全を期するよう業務に当たっております。

クイズ三問全門正解して、三名の方が商品を頂戴しました。仙台市ガス局新港工場は、LNGを原料として、高エネルギーガスを製造、仙台圏の家庭、事業所、製造工場等に供給しております。

LNGは、専用船タンカー（アマン仙台号・一万六千三百三十六トン）でマイナス百六十二度の液体（気体の

あいさつは心のふれあい 出会った人と あいさつしましょう

六百分の一の容積になる）にし、マレーシアから九日間の航海で輸入しております。LNGを使い一瞬にして凍る花、ボール、水、燃える条件が揃わないと着火しない燃焼実験を見せていただきました。また、入港中のアマン仙台号の荷揚げ作業を見学する事が出来ました。

二本のパイプで吸い上げ、三本目で船内にガスを戻し、船内タンク破損を防止するとともに、船の燃料に使用するのだそうです。三本のパイプ周辺では、水が常時流されておりました。パイプが破損してLNGが漏れた場合、船がマイナス百六十二度の液体で凍り破損するので、洗い流す水との事でした。

選挙は必ず投票しよう

大代地区明るい選挙推進委員

渡辺 正平

情報とか現状について、案外知っているようで知らない場合がよくあります。

選挙についても云えることです。テレビ、ラジオ、新聞、広報紙そして選挙広報車などによる訴えがあっても知らなかったという人がおります。そこで、あえてお願いいたします。七月十一日は参議院議員の投票日です。忘れずに必ず投票いたしましょう。

投票所は大代南、中、東、西区の方は大代公民館です。大代北区の方は北区集会所です。また投票時間は午前七時から午後八時までです。

なお、十一日に都合が悪く投票出来ない方は、六月二十五日（金）から七月十日（土）までの期間は期日前投票（従来の不在者投票とほぼ同じ）をご利用下さい。

期日前投票は、市役所において午前八時三十分から午後八時までで行っております。

大代地区の地域発展のために、政治に関心をもち、あなたの票を行使しましょう。



7月11日は

参議院議員の選挙日 忘れずに投票しましょう

【のり巻きづくり教室】

！受講者募集！

◆期 日 平成十六年七月～八月

（全三回、水曜日）

◆日 程 七月二十一日（水）

七月二十八日（水）

八月四日（水）

◆時 間 午前十時～十二時三十分

◆場 所 大代地区公民館 調理室

第三和室

◆持参する者 巻す、フキン

材料費（一回一組二千円）

申込み方法

☆ 七月六日（火）より大代公民館へ

来館の上直接お申し込み下さい

電話での受付はいたしません。

☆対 象 親子（十五組）定員にな

り次第締め切らせていただきます。



「祝儀 お見舞いは 三千元を限度にし お返し物はしないようにお互い気を配りましょう

確認する習慣

大代東 本郷 新治

駅のホームで見る風景ですが、電車のドアが閉まって、ホームを離れて行くのと車掌が窓から半分身を乗り出して、ホームの駅員に敬礼をします。

ホームの駅員は、車掌に敬礼をして、離れて行く電車に向かって、指差ししながら、何かつぶやいています。

おそろく電車の運行記号ナンバーを讀んでいるのですが、これで自分は、その電車が間違いないか発車したという事を確認するわけです。

運転手も、発車するさい「出発進行」と呼称し、信号の度に青かどうかを口に出して言っています。いずれも確認するための方法でしょうが、これは何も電車やバスに限らず、事故を未然に防止するために、一般の作業でも大いに取り入れられております。

流行歌などを口ずさみながら、やっていたりすると、リズムカルにはいくものの、さてどこまでやったか、いくつだったかわからなくなったりします。

駅員においても、別に年から年中緊張しているわけではないことは当然で、確認すべきところをとくに厳格にやっているのでしょうか。これほどの仕事でも変わりありません。それぞれの要所要所はグットしめてかからないと、思わぬ落とし穴にぶつかります。

銀行や官公庁の現金出納口では、念

を入れすぎるほど、お札の勘定に時間をかけます。あの慎重さは、他の分野でもけつして無縁のものではないと思えます。

正確に確認するというやり方を忘れてないでほしいものです。

日本への帰路 (No.二十五)

大代南 後藤 清一

シベリヤの九月はすでに冬の気配を感じず。前を流れるアムール河の水も冷たくなった。昭和二十三年九月下旬テルマの収容所衛門前に並んだ百名程の我々は、残留の同胞から「元気でな、頑張れよ」と固い握手で見送られ、門外で待つ軍用トラックに急ぐ。ダモイか収容所への移動か、なんの説明もない誰もが不文と焦りで顔はひきつり異様なムードである。残留の友は造り笑顔で送ってくれる。「今日喜びの帰還の日ぞ赤旗(日の丸)の元に燃えあがる。祖国を愛いて只管に前途を祈りて、君を送らん。」正にダモイの雰囲気である。

美しく晴れた夕暮れの迫る山の中の小さな駅に、各収容所から集まった同胞で大混雑、千名近い人だ。此処で始めて正式なダモイを聞く。夕暮れも濃くなつた八時過ぎこの小さな駅を発つた十数輛編成の有蓋車は鉄路を一路南の方へと走っていた。

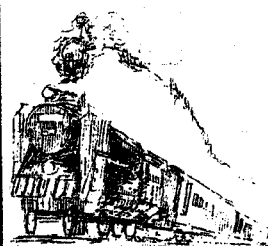
あの極東の地で四年近く各分所を転々と移動し今千名近い日本の抑留者を

満載した帰還列車である。

昭和二十年八月の敗戦で捕われ、満州から極東の地に送られた時と同じくし詰めの状態だが今はあの時と違い、皆の額は疲労の色はあるも明るく輝いている。

ああ家に帰れるんだ、あの酷暑四度からそれに、きついノルマから解放されるだけで、なにもものにも変いがたい喜びである。一日一回は給水と我先に外に飛びだし両手をつき上げ外気を吸い、ゆっくりと体を動かすのであった。

三年程前の入ソ時の様に、ソ連兵による発砲もなく監視も厳しいものではなかった。車内は両サイド二段に仕切られ精々座れる程度で窮屈なものであった。車輛は振動が激しく小窓を締めると昼でも薄暗く、床の片隅に急造された小さな穴は便所の流し場になっていた。周りをアンペラで囲んだだけで、たれ流しの状態の者もいたので車内は臭気が充満していた。誰も入ソした当時のままの汚れた服で、何時も風の攻撃に悩まされ、そんな家畜輸送車のような密室の中で何人か息をひきとった方もいた。可哀相にあと少しで親が待つ祖国日本に帰れると云うのに……。



文芸短評

大代西 藤田遊子

『月山の風入れて待つ十三夜』大塚正路
月山の麓の宿で、林の中に昇りくる十三夜の月を詠んだ。「平成十四年度平成奥の細道」で大賞を得た。七年間の続投の努力が我等の胸を打つ。絶賛。本宮町に健住。選者は俳人廣瀬直人、稲畑汀子、黒田杏子の各先生。

短歌

大代南 本郷 貞子

「若葉して御目拭はむ」と詠みたまふ
鑑真和上像これぞと仰ぐ

大代西 小倉 紀美子

咲き満ちる櫻に心温もりし
思出数多シーズン終わる

大代西 佐藤 あさよ

茹であげしつばみ菜青の色さえて
舌を包みぬほろ苦き味

俳句

大代西 松浦 富男

蒲公英の絮のたゆとう兜太の碑
犬引いて雀隠れの野に遊ぶ

伏流の野に出すみれの根をめぐる
自分誌を刊行して逝く叔父花の冷

堅香子の日照薄き杉林

笠神西 本郷 勝子

花の散るふる里は遠く風の中
ふるさとは花々花の花の中
まみどりを目に写しつ通りけり
境内の甘き香りは白藤の花
万緑は見渡すかぎり今日の幸